損保ジャパン記念財団 NEWs

SOMPO JAPAN FOUNDATION

●2013年度事業の計画～社会福祉事業
●2012年度　ＮＰＯ基盤強化資金助成　助成先の決定、贈呈式を開催
●2012年度　海外助成　助成先の決定、贈呈式を開催
●第14回損保ジャパン記念財団賞の決定･贈呈式を開催

発行者
公益財団法人損保ジャパン記念財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 損保ジャパン本社ビル　TEL：03-3349-9570　FAX：03-5322-5257
http://www.sj-foundation.org/　Eメール：sjf3340@sj-foundation.org

2013 Vol. 1

2013年度事業の計画～社会福祉事業

2013年度は、以下の事業を実施します。

主な助成事業（予定）

事業名 （募集時期/予算）	事業の内容 ※助成金額	対象となる団体
自動車購入費助成★ （６月10日～７月31日/1，000万円）	主として障害者の在宅福祉活動を行う団体が、自動車を購入する際の資金を助成します。 ※１件100万円（上限）	・NPO法人（特定非営利活動法人）、社会福祉法人 ・主として障害者の在宅福祉活動を行う団体 ※ただし、加齢に伴う障害者（高齢者）の在宅福祉活動団体は除く。 ・東日本地区に所在する団体
NPO基盤強化資金助成 （10月～11月/1，500万円）	プログラム１（予算900万円） 組織や事業の基盤強化に結びつく事業などに助成 ※１団体50万円（上限）、20団体程度	・社会福祉に関する活動を行う非営利団体 ・中部地区、近畿地区に所在する団体
	プログラム２（予算600万円） 認定NPO法人の取得にかかる資金を助成 ※１団体30万円、20団体	・社会福祉分野で活動する認定NPO法人の取得を目指すNPO法人 ・全国で募集
海外助成 （10月～11月/300万円）	ASEAN加盟国の社会福祉活動団体に助成します。 ※１件100万円（上限）	・社会福祉に関する活動を行う非営利団体 ・ASEAN加盟国に本部を置く団体 ※推薦人を必要とします。



ドリームたんぽぽ（茨城）のみなさん



海外助成　障害児水泳大会表彰式（シンガポール）

2012年度　NPO基盤強化資金助成　助成先の決定

NPO基盤強化資金助成は、団体の基盤強化につながる「組織の強化」と「事業活動の強化」に必要な資金を助成する制度です。

本年度は東北地区および関東地区（除く東京都）の社会福祉分野で活動するNPOを対象に公募し、115件の応募がありました。

団体の基盤強化に大きく貢献すること、地域課題の解決に大きく貢献することなどを選考基準として、以下の16団体に合計約1, 500万円の助成を決定し、各地で贈呈式が開催されました。

※なお、主に子供（障害児など）に関する福祉事業を行っている５団体（下表団体名に★）への助成金には株式会社損害保険ジャパンの社員有志の毎月の給与から集められる「ちきゅうくらぶ社会貢献ファンド」からの200万円の寄付が含まれています。

2012年度NPO基盤強化資金助成　助成先一覧

都道府県	団体名	助成対象事業	助成金額
青森県	あおもりNPOサポートセンター	NPO法人会計基準の普及及び認定NPO法人制度セミナー	100万円
岩手県	いわてパノラマ福祉館	いわてパノラマ福祉館運営体制強化事業	100万円
宮城県	輝らら会（★）	障害児のためのレクリエーション活動	90万円
宮城県	みやぎ発達障害サポートネット（★）	自閉症／発達障害のある子供たちへの療育支援事業	100万円
宮城県	あかねグループ	５年後の活発な事業の展開の基礎づくり	100万円
山形県	サポート唯	支援者拡大の広報活動とスキルアップ事業	100万円
山形県	論語に学ぶ会やまがた	認定NPO法人申請に関する研修及び新会計基準研修	100万円
福島県	福島市聴覚障害者福祉会	地域活動支援センターから就労継続B型に移行のための物品補充事業	20万円
福島県	ちょぼら（★）	重度障害児にも最適バリアフリー子ども服ブランド「メニーミニー」	100万円
福島県	フォルテ	手作りの天然酵母パンならフォルテに任せてください事業	100万円
茨城県	ドリームたんぽぽ	中長期ビジョンを踏まえた組織基盤強化事業	92万円
栃木県	チャイルドラインとちぎ（★）	自立と基盤強化から目指せ認定NPO！	100万円
埼玉県	なかよしねっと（★）	障害者の働く場・社会参加の場としてのコミュニティカフェ『なかよしかふぇ』	100万円
千葉県	東葛市民後見人の会	「超高齢社会を支える法人市民後見推進事業」	100万円
千葉県	NPO支援センターちば	食農・福祉プロジェクト基盤強化のための環境整備	100万円
神奈川県	アスタPC	印刷物受注強化事業	100万円



ちょぼら（福島）のみなさん



東北地区贈呈式



首都圏贈呈式

フォルテ　理事長・小原さん

「障害者だから、やってもらって当たり前」ではなく、「ありがとう！」の気持ちを大切にと、日ごろからメンバーに伝えています。４月には、広い事業所に引越し、地元の高校の新卒者２名も迎えます。６月にはグループホームも完成し移転します。喜多方市内の障害をもつ人達の働く場所をつくりたくて、フォルテを立ち上げました。自立支援法の改正などで難しい問題がありましたが、資格や技術をもつボランティアやメンバーに恵まれて、ここまでやってこられました。県庁の経営コンサルタントからは「お弁当、焼き菓子、手工芸など事業ごとに数値目標を設定すること」をアドバイスされ、職員・メンバーが一丸となって取り組んできました。「フォルテ」の名前のとおり、障害をもつ人たちが「力強く」生きていけるよう、これからもチャレンジしていきたいと思っています。


フォルテ（福島）のみなさん


あおもりNPOサポートセンターのみなさん

損保ジャパン青森支店・棟方さん

助成先はNPOを支援する中間支援組織でした。お話をお伺いする中で、地域のNPOを支える大きな役割を中間支援NPOが担っていることを実感しました。「行政では行き届かないところを形にして仕組みにかえていくのが私たちの仕事」との言葉に活動への熱い思いが伝わりました。今後、地域で成長していくNPO団体の活躍にも期待したいです。

2012年度　海外助成　助成先の決定

ASEAN加盟国で社会福祉活動をする６団体に合計400万円の助成を決定しました。

『海外助成』は、国内で実施している助成制度を応用し、海外（特に開発途上にある国・地域）の社会福祉の向上を目的に、2010年からASEAN加盟国で実施しています。

日本（人）が対象国の地域の課題解決に関わる機会とするため、申請には日本企業の現地駐在員の推薦を必要としています。

また、助成金の贈呈式は各助成先団体のスタッフや利用者、JICA、障害者団体など関係者の参列を得て開催され、その様子は地元紙にも掲載されました。

次ページへ

平成24年度　海外助成先一覧

国	団体名	助成金の使途	助成金額
シンガポール	Singapore Disability Sports Council	障害者スポーツの振興を目的とした障害児水泳大会の開催費。	50万円
マレーシア	Rajang central zone Community Service Association (RCS),	障害者のデイセンターの衛生環境改善費（ネズミから食料を守るための冷蔵庫・食料保管庫、実習のための調理台などの購入費）。	50万円
フィリピン	Adaptive Technology for Rehabilitation, Integration and Empowerment of the Visually Impaired (ATRIEV)	IT技術の習得による視覚障害者の就労支援（PCと周辺機器購入費）。地方でトレーニングを実施するための必要器材購入費。	80万円
タイ	Foundation for Women	女性（女児）の人権保護等を目的とした団体の活動を推進するリーダー育成にかかる費用など。	100万円
タイ	AUTISTIC THAI CHONBURI CENTER	自閉症児支援センターのプロジェクト運営費（乗馬セラピー、絵画や縫い物教室など）。	50万円
ミャンマー	Free Funeral Services Society	貧困者支援を行う団体の無償医療の提供などにかかる費用。	70万円



チョンブリ（タイ）のみなさん



贈呈式（ミャンマー）

第14回損保ジャパン記念財団賞の決定、贈呈式を開催

社会福祉に関する優れた学術文献を表彰する「第14回損保ジャパン記念財団賞」を、谷口由希子氏（名古屋市立大学大学院人間文化研究科・人文社会学部准教授）の「児童養護施設の子どもたちの生活過程ー子どもたちはなぜ排除状態から脱け出せないのか」に授与しました。

贈呈式を2013年３月14日に損保ジャパン本社ビルで開催しました。受賞者挨拶で谷口氏が「児童養護施設で子ども達と長期間ともに暮らしながら研究をしました。貧困や親の虐待など様々な理由で傷つき、つらい思いをしながら暮らしている子ども達ですが、目の前のコンビニエンスストアから立ち入りを禁止されるなど、施設自体が地域社会の中で排除された状態にあることも実感しました。児童養護施設で暮らす子ども達の実態を広く知ってもらい、社会全体の課題であることを再認識してもらいたいと思い、この著書を出版しました。今回の受賞を励みとし、今後も努力して参ります。」とご挨拶されました。また、2013年７月27日には、グランドアーク半蔵門（東京都千代田区）において受賞者による講演会とシンポジウムを開催いたします。受賞者（要旨）、講演会・シンポジウムについての詳細は、当財団ホームページをご覧ください。

なお、論文部門の該当はありませんでした。

・著書部門：「児童養護施設の子どもたちの生活過程
ー子どもたちはなぜ排除状態から脱け出せないのか」（明石書店　2011年11月）
著者　谷口　由希子氏（名古屋市立大学大学院
人間文化研究科・人文社会学部准教授）





☆★財団からのお知らせ★☆

損保ジャパン記念財団叢書83号「第13回（平成23年度）損保ジャパン記念財団賞受賞者記念講演録」を発行しました

当財団ホームページに全文を掲載していますので、どうぞご覧ください。また、冊子をご希望の方は当財団までご連絡ください。